



### 視野が欠ける!?

Index 8面 誰もが気になる 介護と暮らし 17面 お歳暮&おせち 2018セレクション

40歳から 気をつけたい

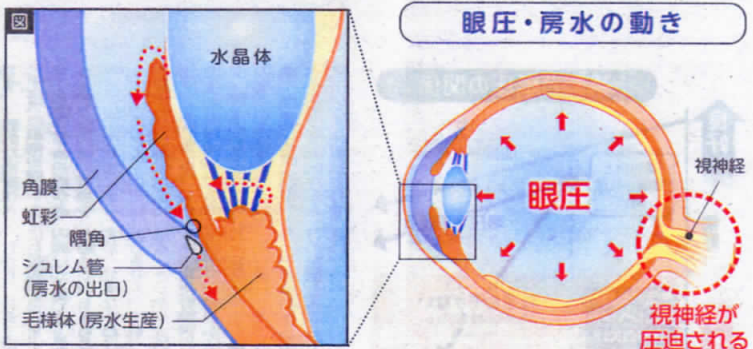
# 緑内障



ツカザキ病院 眼科部長  
日本眼科学会認定眼科専門医・眼科指導医  
中倉俊祐医師

Profile  
緑内障・白内障の手術を担当し、ツカザキ病院では緑内障領域チーフドクターを務める。

日本人の失明原因の第1位として挙げられる「緑内障」。発症に気づいていない人も多く、年々、患者が増えている目の病気です。生活に支障が出る前に発見し、治療することを目指したいですね。ツカザキ病院・眼科部長の中倉俊祐医師に話を聞きました。



40歳以上の20人に1人が発症

「緑内障」とは、目と脳をつなぐ視神経が障害され、視野が欠けていく病気です。40歳以上の20人に1人、70歳以上は14人に1人が発症しているといわれています。有病率は高齢化社会に伴い年々増加しているの、珍しい病気ではありません。しかし、放っておくと失明につながります。「開放隅角緑内障」に

「緑内障」とは、目と脳をつなぐ視神経が障害され、視野が欠けていく病気です。40歳以上の20人に1人、70歳以上は14人に1人が発症しているといわれています。有病率は高齢化社会に伴い年々増加しているの、珍しい病気ではありません。しかし、放っておくと失明につながります。「開放隅角緑内障」に

2面に続く

「町中に佇む自給自足を愉しむ家」完成見学会開催  
11月17日(土)18日(日)10:00~16:00  
会場 | 姫路市  
美しいパブリック空間がすべてを包み込む住まいが完成しました。その風土で心地よい室内環境に癒え、太陽光発電で自給自足を。また、奥さまこだわりのキッチンや充実した収納。建物一体型駐車庫と車のありたいとっています。ぜひお気軽にお越しください。

株式会社プレスト | プレスト 水の家 (姫路)

〒670-0804 姫路市保保112  
Tel 079 (281) 6335  
<http://www.pre-sto.co.jp/>

こんな人は眼科に相談

原因ははっきりとわかっていませんが、以下の項目に当てはまる人は、眼科で検査することをおすすめします。

- ◆家族歴がある  
血縁のある親族に緑内障の患者がいる人はリスクが高いです。
- ◆近視  
眼球が大きくなって毛細血管を圧迫するので、網膜の血流低下を招きやすいです。
- ◆糖尿病  
糖尿病網膜症が悪化し、眼圧が上昇。合併症として緑内障があげられます。

原因は眼圧の上昇?

発症の要因は、眼圧や毛様体を作られ、それと同等量がシュレム管から流れ出ています(図)。圧が視神経に障害を起こしていると考えられます。目の形状は、この房水の圧力によって一定に保たれていて、これを「眼圧」と言います。眼圧とは、目の中でとよんでいきます。時間や季節によって変動するのは、血液の代わりに栄養ともありますが、眼圧の分を運ぶ「房水」の量は増える

査定・下取りのつかない車・不動車でもOK!

廃車無料

- ◆査定無料
- ◆自動車税月割返金
- ◆抹消手続き無料
- ◆現金即買取

LINE@はじめました @euy4395t

当店にお任せ下さい! 詳細はWebで! 廃車専門店 廃車買取屋さん 検索

姫路市余部区上全部213番地 / 日曜定休日 / 営業時間00-18:00

お手元に車検証をご用意の上お電話下さい! ☎079-272-6777

あれ?

異常に気づく  
その前に  
知っておきたい

# 緑内障

緑内障が発症している人のうち、治療を受けていない人は約90%にも及ぶといわれています。病状を知ることによって早期発見につなげましょう。

## 視野障害の進行イメージ

### 末期



視野がかなり狭くなり、視力も悪くなっていく。日常生活にも支障をきたすようになり、放置すると失明に至る可能性も。

### 中期



見えない範囲が拡大し、視野の欠損が広がります。片方の目に異常があっても、もう片方で補うので気づきにくい。

### 初期



視覚の中心部からやや離れたところに、ごくわずかな見えない範囲が。自覚症状はほとんどない。

気づかぬうちに  
ゆっくりと欠ける視野

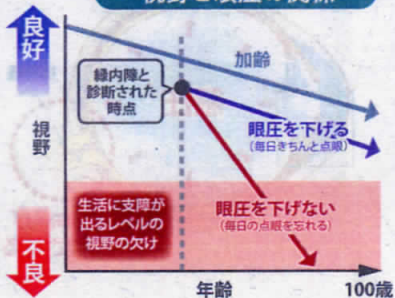
緑内障になると一般に、まず気づかない人がほとんど。鼻側の上のあたりから視とんど。さらに、物体を視野が狭くなり、進行する。見ても立体感がありません。視野は元に戻すことはできません。視野の範囲が欠け、中心部分に見えは、縮ん。それは、片方の目の周囲が広がっていきま。視野が欠けても異物を感ゆつくりと視野が欠けて、しじく、もう片方の目の多くの自覚症状が少な、それを補ってくれるから、かなり病気が進行してら。一度かけてしまった視野は元に戻すことはできません。視野の範囲が欠け具合は、自分では判断が出来ないので、眼科で定期的に検査を受け、自身の目の状態を確認することが大切です。

点眼薬で  
眼圧を調整



緑内障の治療は、視野が欠ければ、点眼薬を委更が欠けるスピードをコントロールし、視野の範囲を広くし、作用の経過を維持すること。慢性の緑内障は、定期的な検査を受け、点眼薬の内服による開角緑内障内、薬品をきちんと使いな障の障害を減らすために、定期的な通院を続眼圧を下げる必要があります。しかし、目薬での治療としては、点眼薬治療よりも効果が期待できます。緑障は、手術治療が有効な場合があります。緑障の種類や、病状の進行具合によって、手術の種類や、手術のタイミングが異なります。緑障の種類や、病状の進行具合によって、手術の種類や、手術のタイミングが異なります。緑障の種類や、病状の進行具合によって、手術の種類や、手術のタイミングが異なります。

### 視野と眼圧の関係



変化がなく効果が十分でない。緑障の種類や、病状の進行具合によって、手術の種類や、手術のタイミングが異なります。緑障の種類や、病状の進行具合によって、手術の種類や、手術のタイミングが異なります。緑障の種類や、病状の進行具合によって、手術の種類や、手術のタイミングが異なります。

まずは検査を受けることから



緑内障の多くは慢性型で、視野が欠けていくので、数十年にわたる進行を10年単位で遅らせる目の管理を必要とします。これが可能ですが、また、長く上手に付き合っていくには「眼圧・年齢・視病歴」を把握する必要があります。まずは自分自身の目の状態を把握するため眼科で検査を受け、早期発見して治療を受けることが大切です。失明と認識している人、検査を受け、早期発見して治療を受けることが大切です。